

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成25年4月19日

協議会・構成員 夕張市地域公共交通協議会 会長 高島 信次

| 事業名 | 調査事業の結果概要 | 調査事業実施の適切性 | 生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針 |
|-----------------------|---|--|--|
| 記載要領 | 【事業内容及び結果概要を記載】 | A・B・C評価 【調査事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 | 【生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針(補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載)】 |
| 夕張市生活交通ネットワーク計画策定調査業務 | <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者や観光事業者等にヒアリングを実施した。 市民を対象としたアンケートを実施するとともに、市内6地区での説明会、郊外地区での座談会、全体説明会などを通じて、市民の交通利用に関する生の声やニーズを把握した。 本協議会に、DMV導入可能性検討分科会を設置し、当該分科会で、DMVの導入可能性について検討し、課題整理等を行った。 上記の結果を活かして生活交通ネットワーク計画案を検討した。 | A 公共交通は、市民の生活の足として、生活に密接に関係する事項である。夕張市では、利便性が高く、持続可能な交通システムを構築することが求められており、これを実現するためには、市民の意見を聴きながら進めていくことが必要不可欠となる。 また、DMVは、シームレスな移動による利便性の向上と、運行コストの低減による持続可能な交通システムの構築を期待できるものである。 このことから、本調査は、夕張市において適切な調査であると言える。 | <p>夕張市では、コンパクトなまちづくりを目指しているが、この中で重要な要素である公共交通については、多くの課題を抱えている。</p> <p>現在の公共交通体系を見直すために、「住民の移動実態に配慮した交通体系の構築」と「財政負担に配慮するとともに、将来の都市構造を踏まえた持続可能な交通体系の構築」を基本的な考え方として進める必要がある。</p> <p>当該考え方にに基づき、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①南北軸の公共交通サービスの強化 ②交通結節点の強化 ③効率的な交通システムへの転換 ④公共交通の利用促進 ⑤都市構造の変化に合わせた柔軟な運用と見直し <p>の5点を夕張市の生活交通ネットワーク計画を策定するための方針とし、検討を進めていくこととする。</p> <p>また、この方針を実現するために、①DMVの導入、②デマンド交通等の導入可能性の検討、③バス路線の見直し、④公共交通の利用促進、の4つの取り組みを進めていき、利便性が高く、持続可能な公共交通システムを構築していくこととする。</p> |

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。